



少人数での授業

自分で考える力を高め、共に学び合い、発表の力を高める授業を通して、自分の意見を持ち、様々な人に、分かりやすく発信することができる力を伸ばしています。

【ICTを活用した教育の充実】遠隔教育、プログラミング教育の推進

1人1台のタブレットを活用して、自分で課題を見つけ、周りの人と協力しながら解決策を見つけたり、発信したりするために必要な力を育てます。

【少人数での充実した学び】

少人数の強みを生かし、先生によるきめ細かな指導が行われています。授業中に自分の考えを発表する機会が増え、主体的な学びが深まります。

【他府県小規模小中一貫校等との交流】

本校と同じ小中一貫教育を行っている京都大原学院と、世界遺産と一緒に巡ったり、WEB会議システムを活用したりしながら交流しています。



WEB会議システムによる交流

9年間を見通した、学び 連続したカリキュラムの中で確かな学力と豊かな心を育む



入学式の様子

9年間一貫した教育目標のもと、めざす子ども像を全教員が共有しながら取り組んでいます。児童生徒の発達段階に応じたカリキュラムの中で、一人ひとりが持つ力を最大限に発揮できるよう、活動の充実を図っています。

【学校教育目標】

9年間の連続性・継続性を生かした一貫教育を行い、豊かな心と確かな学力を身につけ、世界にはばたく人間の育成



全校で取り組む学習

【9年間のカリキュラム ～3つのブロック～】

小学校・中学校施設一体型の校舎で、9年間を4・3・2の3つのブロックに分け、学校教育目標の実現を目指します。

前期（1～4年）…学校生活・学習の基礎基本を学び、確かな学力の基礎を固める

中期（5～7年）…基礎基本を生かし、自ら課題を見つけ、判断し、行動することを学ぶ

後期（8・9年）…全校のリーダーとしての自覚をもち、地域に貢献できる力をつける

田原で学んだことを誇れる、学び 持続可能な社会を築く力を育む～地域で学ぶ・地域の方に学ぶ～

大切に継承されてきた文化や歴史等について、地域の方々から学ぶ機会を通じて、地域に対する誇りを育て、地域を大切にし、持続可能な社会の創り手となることが期待される子どもたちの生きる力を育みます。

【地域の誇りを育む学習】

- ・祭文音頭、千本つき等、伝統文化の継承
- ・太安万侶などの地域遺産学習



大和茶について学ぶ

【田原の豊かな自然を生かした学習】

- ・星空観察 ・ホテル鑑賞（公民館、放課後子ども教室による取り組みとして）
- ・田原やま里博物館（奈良市・奈良市生涯学習財団による取り組みとして）等



伝統芸能「祭文音頭」を継承

家庭・地域・学校が連携することにより、より豊かに子どもを育てることができると考えています。そのために、教職員ができることは教職員が、保護者ができることは保護者がそれぞれ責任をもって取り組む。学校だけではできないこと、家庭だけではできないこと、地域だけではできないことができるようになり、子どもたちの学びは大きく広がります。